

株式会社 出石まちづくり公社

決算書類

第 28 期

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

〔報告事項〕

第 28 期営業報告（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日まで）

I. 背景と成果

令和 7 年度の日本の観光業は、国内外の旅行需要が回復し過去最高水準に達する見込みの中、訪日外国人旅行者数は前年対比 15.8%増の 4,268 万人と過去最高を更新、国内旅行者数も同 2.4%増の 5 億 5,313 万人に達するなど、観光産業全体として力強い回復基調が続きました。また、令和 7 年 3 月に策定された「豊岡市出石地域観光戦略」では、2030 年までに来訪観光客数 70 万人を目標として掲げており、その実現に向けた取り組みが本格的にスタートした年度となりました。

そのような状況の中、当地におきましては、映画「国宝」のロケ地巡礼効果をはじめとする積極的な誘客施策が奏功し、今年度来訪観光客入込総数は 654,000 人（前年度より 73,000 人増）となり、前年度から大幅に増加しました。

今期全体売上は、281,731,159 円（前年対比 108.5%）となり、営業目標を上回る結果を残すことができました。そして、当期純利益も 22,343,323 円（前年対比 181.6%）となり、増収増益という結果となりました。収益増の主な要因としては、映画「国宝」のロケ地巡礼効果により出石永楽館への注目が高まり、入館者数が大幅に増加したことが挙げられます。映画公開を契機として県内外から多くの来訪者があり、永楽館を核とした周辺観光消費の底上げにも繋がりました。引き続きこの追い風を活かした情報発信と受入環境の充実に努めてまいります。

一方、冬期間については悪天候等による来訪観光客の落ち込みが見られ、通年での安定した集客に向けた取り組みが課題として残っております。

今年度は特に以下の事を重点的に取り組みました。

地域内資源を用いた観光コンテンツの開発と情報発信については、有子山城・出石城を主体とする謎解きガイドツアーの継続実施・内容改良を行うとともに、城下町出石の魅力を発信する新たな観光コンテンツの開発と積極的な情報発信に取り組みました。

まち歩き定時ガイドの充実と新たな観光ガイドの育成については、土日祝日限定で 1 日 2 回の「まち歩き定時ガイド」を実施し、城下町出石の魅力発信と新たなファンづくりに努めました。また、出石振興局と連携した地元住民向け「まちあるきガイドツアー」を開催し、新たな観光ガイドの確保と育成に取り組みました。その結果、今年度の観光ガイド実績は 7,489 人（前年対比 112%・前年度より 40 件増）となり、着実に利用者数の拡大に繋がりました。

「永楽館歌舞伎公演」への積極的な運営連携と広報活動の強化については、各方面への積極的な情報発信に努め、新規顧客層の開拓にも繋がりました。

地元教育機関と連携した地域愛を育む人材育成の推進については、「トライやるウィーク」「出石高校インターンシップ」「出石高校地域探究授業」などを積極的に受け入れ、継続した取り組みを行いました。

豊岡市出石町観光危機管理計画（BCP）の実施と訓練については、昨年度策定した計画に基づき諸団体と連携し、地震などの災害を想定した訓練を実施しました。

ひょうごフィールドパビリオン認定ツアーの実施については、地域の活動の現場そのものを発信する取り組みとして、認定ツアーの企画・実施、関係団体との連携強化に積極的に取り組みました。

インバウンド受入環境整備の推進については、訪日観光客向けアンケートの継続実施および結果の分析・活用、近隣宿泊施設との連携による外国人観光客向け商品の提案・販売を推進しました。

Ⅱ. 当社の概要 （令和8年3月31日現在）

（１）資本金

区 分	当 期 末
資 本 金	98,000,000 円

（２）株式の状況

発行済株式総数	1,960 株
当期末株主総数	331 名

大 株 主	保有株数	持ち株比率
豊 岡 市	400 株	20.40%
NPO 法人但馬國出石観光協会	100 株	5.10%
豊 岡 市 商 工 会	60 株	3.06%

（３）役員の状況

役 職 名	役 員 名
代表取締役社長	榮 木 健 二
代表取締役副社長	古 田 智 久
取 締 役	永 井 秀 和
取 締 役	田 中 覚
取 締 役	中 易 裕 明
取 締 役	永 澤 仁
取 締 役	佐 古 忠 隆
取 締 役	渋 谷 順 子
監 査 役	木 之 瀬 晋 弥
監 査 役	石 田 伊 久 雄

（４）従業員の状況

区 分	人 数	構 成
正 社 員	7 人	男性 4 人 女性 3 人
契 約 社 員	4 人	女性 4 人
パ ー ト 社 員	7 人	女性 7 人
合 計	18 人	

シルバー人材センター（派遣）	6 人	男性 6 人
観 光 ガ イ ド	3 人	男性 1 人 女性 2 人

(5) 事業内容

1. まちづくり活性化推進事業
2. 出石観光散策ガイド事業
3. 総合観光案内事業
4. 「いずし観光センター」物産販売事業
5. 「和カフェ」飲食販売事業
6. 「出石びっ蔵」集合貸店舗事業
7. 「大手前駐車場」運営事業
8. 「いずしトラベルサービス」旅行業
9. 「出石永楽館」受託管理運営事業

(6) 主な地域貢献事業

1. 有子山城跡を登ろう会活動補助	6.3 万円
2. 全国子ども落語大会協賛	18 万円
3. 出石秋祭りだんじり実行委員会	3 万円
4. 出石歴史文化交流館（武家長屋）	14.4 万円
5. 出石初午祭奉賛会	45 万円
6. 新そば祭り協賛	5 万円
7. 出石高校永楽館歌舞伎学割補助	35.5 万円
8. 出石観光協会 パンフレット作成協賛	30 万円

合 計 157.2 万円

(7) 教育機関連携協力事業

1. 出石中学校トライやる協力（5 日間）
2. 出石高校インターンシップ受け入れ（3 日間）
3. 出石高校地域探究ⅠⅡ授業講師協力（2 学期）1 テーマ×8 回

〔決議事項〕

第1号議案 第28期計算書類承認の件

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(1) 貸借対照表

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 101,332,427】	【流 動 負 債】	【 25,945,769】
現 金 及 び 預 金	85,495,387	買 掛 金	9,677,378
売 掛 金	630,573	未 払 金	4,797,193
商 品	6,163,084	前 受 金	233,690
貯 蔵 品	476,308	預 り 金	1,434,608
前 払 費 用	145,200	法 人 税 等 充 当 金	6,186,500
未 収 入 金	5,643,090	未 払 消 費 税	3,616,400
仮 払 金	2,778,785	【固 定 負 債】	【 3,521,457】
【固 定 資 産】	【 200,348,424】	長 期 借 入 金	370,000
(有 形 固 定 資 産)	(193,892,024)	預 り 保 証 金	3,151,457
建 物	12,100,607	負 債 の 部 計	29,467,226
建 物 附 属 設 備	3,507,787	純 資 産 の 部	
構 築 物	22,052	【株 主 資 本】	【 272,213,625】
什 器 備 品	376,506	[資 本 金]	[98,000,000]
一 括 償 却 資 産	525,072	[利 益 剰 余 金]	[174,213,625]
建 設 仮 勘 定	550,000	利 益 準 備 金	24,500,000
土 地	176,810,000	(その他利益剰余金)	(149,713,625)
(投資その他の資産)	(6,456,400)	退 職 給 付 積 立 金	6,005,000
出 資 金	10,000	ま ち づ く り 積 立 金	6,193,000
保 証 金	3,550,000	別 途 積 立 金	105,000,000
保 険 積 立 金	2,896,400	繰 越 利 益 剰 余 金	32,515,625
		(うち当期純利益)	(22,343,323)
		純 資 産 の 部 計	272,213,625
資 産 の 部 計	301,680,851	負 債 ・ 純 資 産 の 部 計	301,680,851

(2) 損益計算書

(単位：円)

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

科 目	金 額	
【売上高】		
売上高	238,947,084	
飲食売上	15,489,360	
案内等収入	1,669,590	
レンタル収入	710,000	
駐車場売上	24,915,125	281,731,159
【売上原価】		
期首棚卸高	6,046,566	
仕入高	138,392,692	
材料費	6,998,209	
合 計	151,437,467	
期末棚卸高	6,163,084	145,274,383
売上総利益		136,456,776
【販売費及び一般管理費】		109,462,992
営業利益		26,993,784
【営業外収益】		
受取利息	85,259	
受取手数料	1,085,000	
雑収入	3,390,799	4,561,058
【営業外費用】		
支払利息・割引料	13,538	
寄付金	400,000	
雑損失	111,304	524,842
経常利益		31,030,000
税引前当期純利益		31,030,000
法人税等充当額		8,686,677
当期純利益		22,343,323

(3) 販売費及び一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	1,440,000	
給 料 手 当	34,079,300	
退 職 金	30,000	
福 利 厚 生 費	8,324,304	
雑 給	17,523,100	
シルバー委託費	6,235,208	
広 告 宣 伝 費	2,318,975	
運 賃	9,420	
燃 料 費	55,924	
衛 生 費	492,284	
購 読 費	94,361	
水 道 光 熱 費	6,872,249	
事 務 費	2,010,740	
消 耗 品 費	3,519,116	
地 代 家 賃	600,000	
支 払 保 険 料	682,727	
修 繕 費	589,750	
租 税 公 課	10,038,600	
減 価 償 却 費	3,396,964	
接 待 交 際 費	2,070,979	
旅 費 交 通 費	245,680	
通 信 費	811,195	
支 払 手 数 料	3,274,267	
賃 借 料	870,624	
諸 会 費	611,410	
舞 台 維 持 費	1,595,000	
会 議 費	21,882	
雑 費	1,648,933	
合 計		109,462,992

(4) 株主資本等変動計算書

株主資本等変動計算書

株式会社 出石まちづくり公社										(単位:円)		自 令和 7年 4月 1日 至 令和 8年 3月31日	
株 主 資 本			株 主 資 本					株 主 資 本 合 計	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計		
資 本 金	資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金	利 益 金	利 益 剰 余 金	そ の 他 の 剰 余 金	自 己 株 式							
資 本 金	98,000,000					24,500,000	129,330,302	251,830,302			251,830,302		
当期首残高													
当期変動額													
剰余金の配当							11,960,000	11,960,000			11,960,000		
当期純利益							22,343,323	22,343,323			22,343,323		
当期変動額合計							20,383,323	20,383,323			20,383,323		
当期末残高	98,000,000					24,500,000	149,713,625	272,213,625			272,213,625		

	利 益 剰 余 金 の 内 訳									
	利 益 準 備 金	退 職 給 付 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金
	利 益 準 備 金	退 職 給 付 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金
当期首残高	24,500,000	4,405,000	6,193,000	95,000,000	23,732,302	153,830,302				
当期変動額										
剰余金の配当										
剰余金の内訳科目間の振替		1,600,000		10,000,000	11,600,000					
当期純利益					22,343,323	22,343,323				
当期変動額合計		1,600,000		10,000,000	8,783,323	20,383,323				
当期末残高	24,500,000	6,005,000	6,193,000	105,000,000	32,515,625	174,213,625				

(5) 個別注記表

株式会社 出石まちづくり公社

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料……最終仕入原価法による原価法

商品……最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に
取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産……定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額……59,370,264円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数……1,960株

②当事業年度末日における自己株式の数……0株

③当事業年度中に行った剰余金の処分に関する事項

令和7年6月24日開催の第27期事業年度の定時株主総会で決議

配当金の総額(年2.0%)……1,960,000円

退職給付積立金……1,600,000円

別途積立金の積立額……10,000,000円

④当事業年度末日以後に行う剰余金の処分に関する事項

令和8年6月23日開催予定の第28期事業年度の定時株主総会で決議予定

配当金の総額(年3.0%)……2,940,000円

配当の原資……利益剰余金

1株当たりの配当金……1,500円

配当基準日……令和8年3月31日

退職給付積立金……890,000円

別途積立金の積立額……15,000,000円

繰越利益剰余金……13,685,625円

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額……138,884円50銭

1株当たりの当期純利益金……11,399円65銭

監 査 報 告

私監査役は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第28期事業年度における貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告および附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和8年5月28日

監査役 木 之 瀬 晋 弥

監査役 石 田 伊 久 雄

報 告 書

以上のとおりご報告申し上げます。

令和8年6月23日

株式会社 出石まちづくり公社

代表取締役社長 榮木 健二

代表取締役副社長 古田 智久

取締役 永井 秀和

取締役 田中 覚

取締役 中易 裕明

取締役 永澤 仁

取締役 佐古 忠隆

取締役 渋谷 順子

剰 余 金 処 分 案

(単位：円)

科 目	金 額	
当期末処分利益の処分		
【繰越利益剰余金】		32,515,625
【利益処分額】		
株主配当金(年3.0%)	2,940,000	
退職給付積立金	890,000	
別途積立金	15,000,000	18,830,000
【次期繰越利益】		13,685,625

上記のとおりご提案申し上げます。

令和8年6月23日

株式会社 出石まちづくり公社

代表取締役社長 榮木 健二

(令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日)

令和 8 年度の日本の観光業は、訪日外国人旅行者数が過去最高を更新した令和 7 年度の勢いを受け、引き続き国内外の旅行需要が高水準で推移することが見込まれます。一方、地方においては都市部との格差が依然として課題であり、地域独自の魅力を磨き上げ、持続可能な形で来訪者を増やしていくことが求められております。

出石観光においては、令和 7 年 3 月に策定された「豊岡市出石地域観光戦略」のもと、2030 年までに来訪観光客数 70 万人という目標達成に向けた取り組みを着実に推進していく必要があります。昨年度の来訪観光客数は 654,000 人（前年対比 73,000 人増）と大幅に増加し、目標達成まであと一步に迫っております。この勢いを確実に継続・発展させながら、一過性の効果に頼らない持続可能な観光地域づくりを目指してまいります。

昨年度は映画「国宝」のロケ地巡礼効果により出石永楽館の入館者数が大幅に伸び、増収増益を達成することができました。来期においてはこの好調な流れを活かしつつ、映画効果に依存しない独自の集客力を高めるため、地域内資源を最大限に活用した観光コンテンツの充実と積極的な情報発信に努めてまいります。

営業面では今期全体売上で 2 億 9,000 万円を目標として、更なる増収増益を目指し役職員一丸となって取り組んでまいります。営業目標を達成するためにも、昨年度の成果と課題をしっかりと検証した上で、引き続き取り組むべき事と新たに挑戦する事を見極め、営業上の成果に結び付けてまいります。

今期はこれらの背景や情勢を踏まえ、以下の事を重点的に取り組みます。

《令和 8 年度における重点事業項目》

- ・映画「国宝」ロケ地効果の継続的な活用と情報発信の強化
- ・地域内資源を用いた観光コンテンツの開発と情報発信
- ・「まち歩き定時ガイド」の充実と新たな観光ガイドの育成
- ・永楽館歌舞伎公演への積極的な運営連携と広報活動の強化、観劇チケット完売の実現
- ・地元教育機関と連携した地域愛を育む人材育成の推進
- ・豊岡市出石町観光危機管理計画（BCP）の継続的な実施と訓練の充実
- ・インバウンド受入環境整備のさらなる推進

上記のとおりご提案申し上げます。

令和 8 年 6 月 23 日

株式会社 出石まちづくり公社